

# きつい きついと言われる摩耶山黒岩尾根を登る 2020.11.9.



市原の奥からトゥエンティクロス(布引谷)と地獄谷に挟まれた急登の登山道は確りしているのですが、スマホ電波は届かず、途中標識もなし。思いつきの午後のハイキングにはちょっと厳しいなあと。でも堂々と山体を広げる摩耶山の知らなかった新しい一面を知ったとの感あり。

高取山から眺める摩耶山は 東六甲の山並に立ちはだかる堂々とした山容の大きな山である山の正面左側から「く」の字に右へ回り込む尾根筋が黒岩尾根



## 高取山から眺める摩耶山と黒岩尾根遠望

正面右の山頂から左へ「く」の字に回り込む尾根筋が黒岩尾根  
高さは702m摩耶山。神戸の街からケーブル・ロープウェイや六甲ドライブウェイを通じて。手軽に登れ、また、登山道も色々よく整備されている。多くの毎日登山を楽しむ人も多い。  
ケーブルが登る街の中央から眺める摩耶山は気楽で楽しめる山と。子どもの頃から親しんだ山。  
でも、大阪沿岸に広がる神戸の街、海岸から一機に700mほどを登るので侮ると厳しい。  
高取山など西六甲から眺める摩耶山は多くの山並に囲まれた堂々とした立派な姿を見せる山である。  
でも、山深い山などと想像すらしなかったが、今回正面の黒岩尾根を登って、新しい一面を発見。  
古くからの信仰の山だったことも理解。また、100名山踏破の田中有希さんが六甲全山縦走に挑んで、きついきついと摩耶の急坂を登っていたのを思い出しました。  
よく知らなかった摩耶山黒岩尾根をひょんなことで登り、改めて摩耶山の大きさに触れることができました。



六甲山牧場

摩耶山天上寺

摩耶山上掬星台  
ロープウェイ星の駅

摩耶山頂▲

▲606mピーク

●森林植物園東口

トウエンテイクローズ  
(現在崩壊で通行止)

●黒岩尾根登り口

●天狗道登り口  
全山縦走路・摩耶山登り口

市原

ロープウェイ  
ハーブ園

ロープウェイ  
風の丘駅

布引  
貯水池

展望台

布引滝

虹の駅

摩耶山  
ケーブル下駅

976 m

新神戸

© 2020 ZENRIN

# 2020秋 コロナ禍の中で 摩耶山黒岩尾根を登って摩耶山上 掬星台へ 摩耶山 (702m) 掬星台 (690m) 2020.11.9.





森林植物園東口 ●

▲606mピーク

摩耶山天上寺

摩耶山頂 ▲

摩耶山上 掬星台  
ロープウェイ星の駅

トウエンティクロス  
(現在崩壊で通行止)

●黒岩尾根登り口

●天狗道登り口  
全山縦走路・摩耶山登り口

虹の駅

市原

ロープウェイ  
ハーブ園

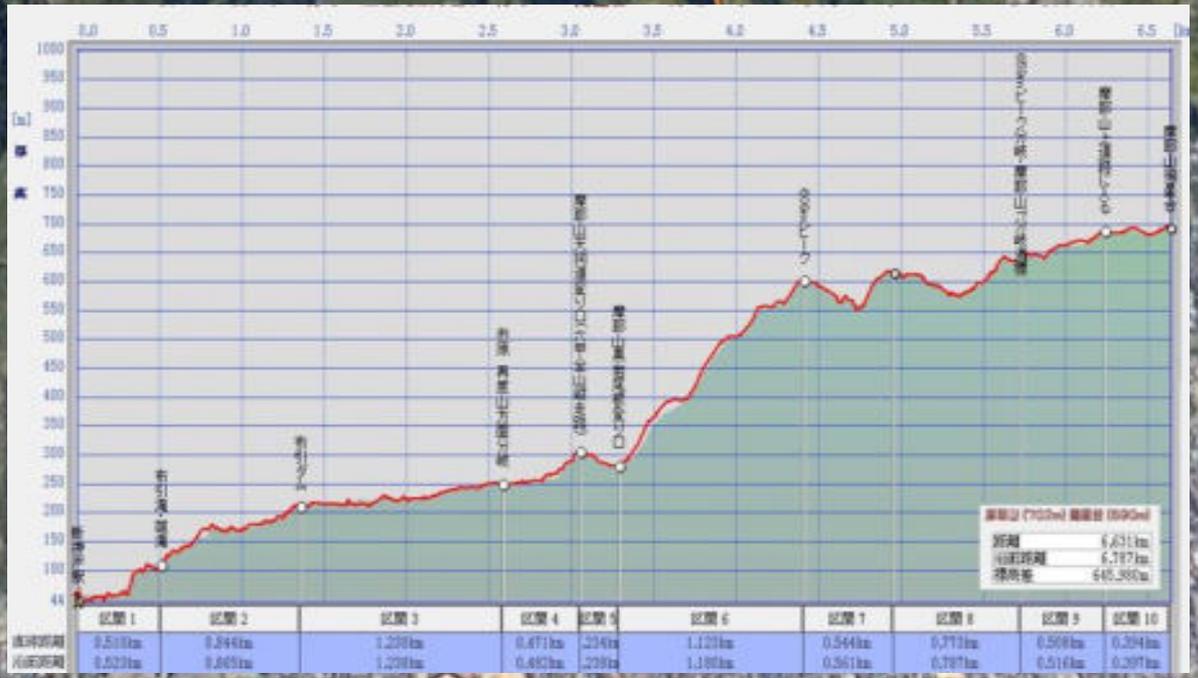
ロープウェイ  
風の丘駅

布引貯水池

展望台

布引滝

976 m



11月9日の午後

街の街路樹も鮮やかに色付いて、布引の滝道の紅葉を期待して。今日のwalkは布引谷を市原へ。そんな気持ちで 昼飯を済ませて新神戸駅から滝道を歩き出す。





布引の滝 雄滝

11月9日の午後 布引谷 滝道で

布引の滝道の紅葉は意外にもまだこれから



布引ダム

2020.11.9.

狭い布引谷滝道 風が吹き抜けないのかも・・・。



A photograph of a forest during autumn. The foreground is dominated by a large tree with bright red maple leaves. The background shows a dense forest with green and yellow foliage. A small stream or path is visible in the lower left corner.

布引ダム湖を抜けて 上流の市原地区へ 2020.11.9.  
ダムを抜けると真っ赤に色づいた樹木が増えてきた。



布引ダム湖を抜けて 上流の市原地区で 2020.11.9.  
ダムを抜けると真っ赤に色付いた樹木が増えてきた。

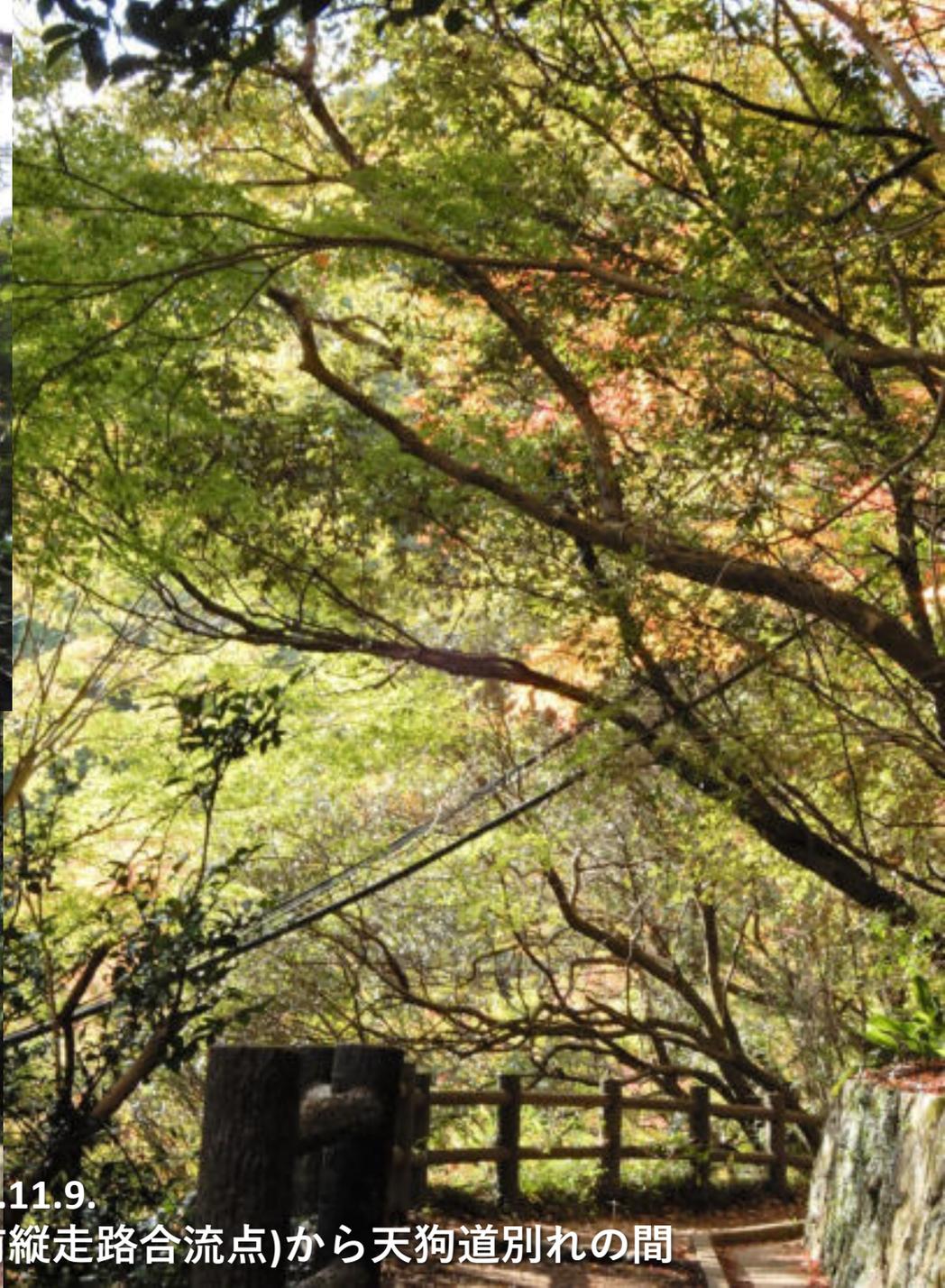


布引ダム湖を抜けて 上流の市原地区で 2020.11.9.



布引ダム湖を抜けて 上流の市原地区で 2020.11.9. 14:30.

南へ再度山ドライブウェイに出るか？ ひきかえすか？ いつもの選択  
急に長いこと歩いていない布引谷の奥へ歩きたくなって、  
少し遅めですが、いつでも引き返せるし...何とかなるだろう。  
トゥエンティクロス・森林植物園への道をたどることにした。



市原堰堤横 2020.11.9.  
再度山分岐(六甲前縦走路合流点)から天狗道別れの間



市原堰堤横 2020.11.9.  
再度山分岐(六甲前縦走路合流点)から天狗道別れの間



登山道から摩耶山黒岩尾根の尾根筋が見える 2020.11.9.  
 今日はトゥエンティシンリンクロスから森林植物園へ  
 布引谷の谷筋を抜けるつもりでしたが・・・





2020.11.9.

布引谷沿いトゥエンティクロスへの道を歩くつもりで布引谷奥へ



2020.11.9.

布引谷沿いトゥエンティクロスへの道と

尾根道 全山縦走路 天狗道から摩耶山の別れ

左手案内板に布引谷トゥエンティクロスで高尾山崩壊による登山道注意書  
崩壊場所があるとは知らず。

多分巻き道があると楽感的で左側の布引谷を進む



2020.11.9. 布引谷を北の谷筋トゥエンティクロスへ  
布引谷では真っ赤に色づいた樹木が美しい やっぱり谷の奥だ



2020.11.9. 布引谷に沿う道を北へ  
布引谷の奥 トウエンティクロス方面の高尾山の山腹崩壊が見える  
これはきついなあと でも ちょっと見たい。行こうと



2020.11.9. 布引谷を北のトゥエンティクロスへ  
真っ赤に色づいた布引谷 色づき始めた樹木が美しい



2020.11.9. 地獄谷から摩耶山への別れ  
いよいよトゥエンティクロスの始まりだ  
小さな流れを渡ると黒岩尾根の登り口とトゥエンティクロス始まりの分岐点



2020.11.9. 地獄谷漢摩耶山への別れ  
小さな流れを渡ると黒岩尾根の登り口トゥエンティクロスの始まりだ



2020.11.9. 黒岩尾根から摩耶山への別れ トウエンティクロスの入口  
ここにも高尾山山腹崩壊の注意書がありましたが、気にも留めず奥へ

## 2020.11.9. 黒岩尾根から摩耶山への別れ すぐ上で今度は登山道ストップの表示

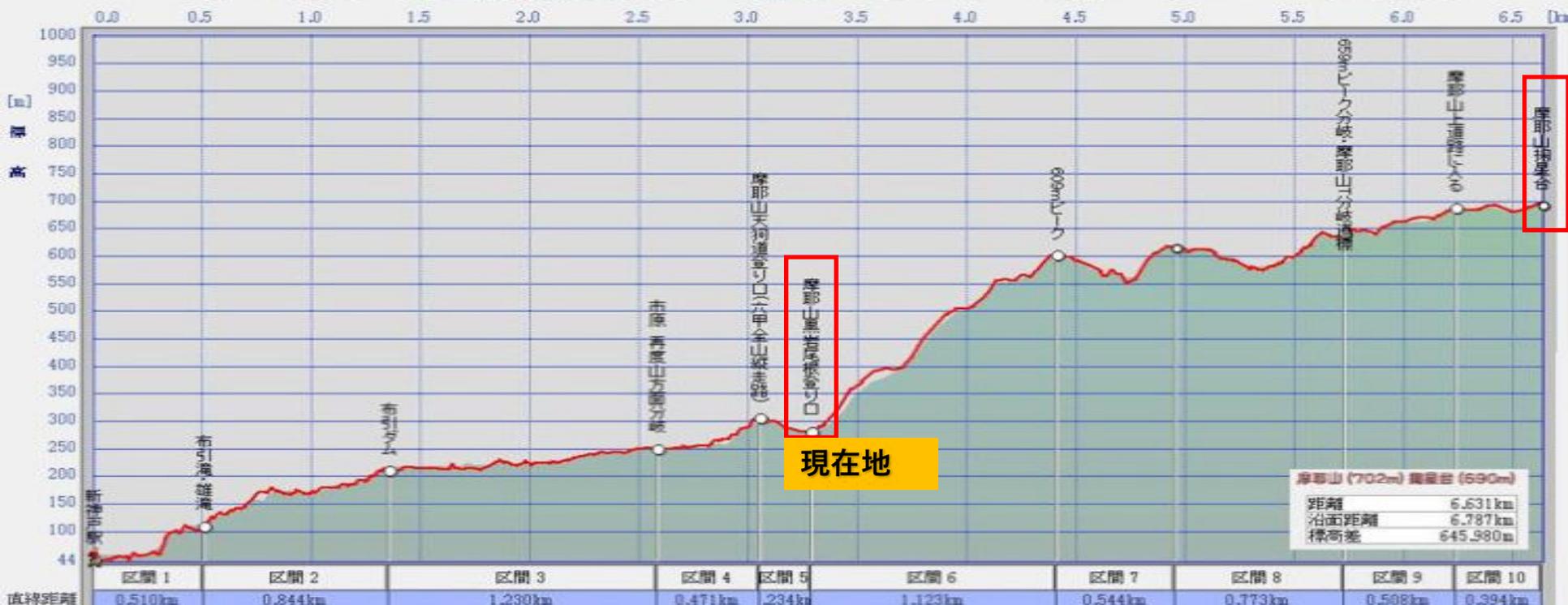
この先で崖崩れがあり  
登山道が崩落しています  
大変キケンです！！

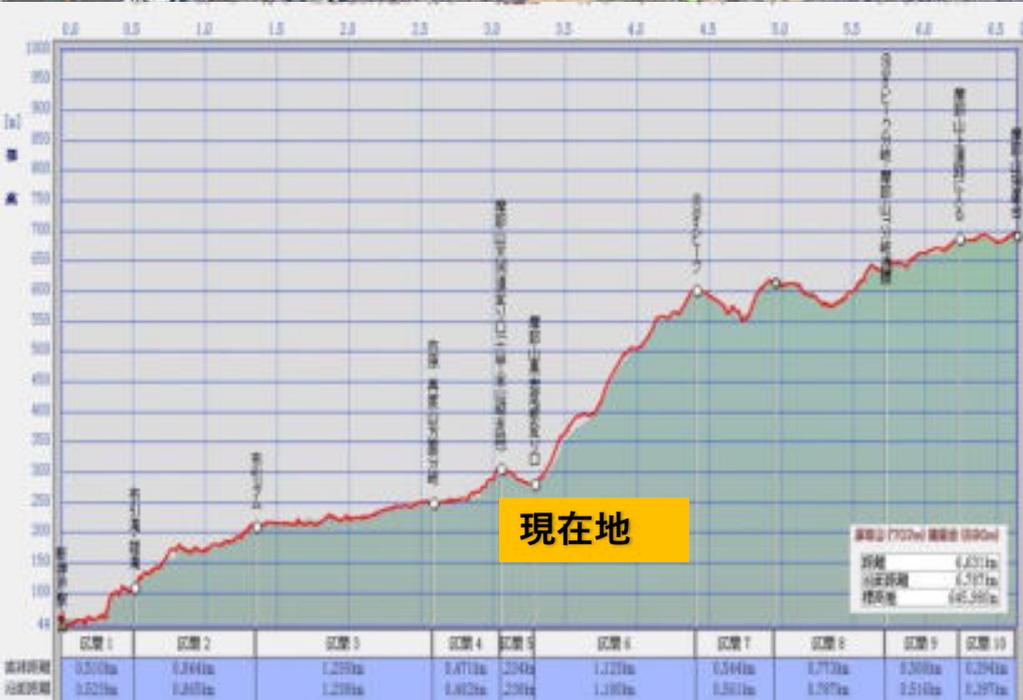
こりゃだめだ。 時間は午後2時50分 崩壊部分で迷ったら日が暮れる。  
引き返すのも嫌で、登ったことはないが、黒岩尾根から摩耶山へ登って  
ロープウェイで降りれば十分行けるだろうと。

後日息子に呆れられました。みんな知る長時間登りが摩耶山まで続く厳しい道  
黒岩尾根は昼過ぎで遅くから年寄りが入る道と違くと……。  
でも何とか日没までに摩耶山へ登れました。 はぼコースタイムどおりでしたが、  
急な登りが延々と続く長い道。おまけにスヌボが使えず。  
位置確認ができず少し不安に……

## 行く先を変更 黒岩尾根を登って摩耶山へ

登った記憶はないが、しっかりした登山道が整備されているでも 西側は布引谷のトゥエンティクロス 東側は地獄谷 摩耶山まで逃げ道はない急登が続く一本道 ちょっと不安がよぎるが、そのまま摩耶山黒岩尾根を登りだす。 スマホもあるしと楽観していたのですが、この周辺はドライブウェイも建物も何もない谷筋が幾本もある山中。 スマホの電波が届かず、GPSによる位置情報も得られず、ただひたすら登る 幸い尾根筋 所々で視界が開け、ほっとする。 何とか日没前に摩耶山山上に。 でも午後遅くからの知らぬ山道は大変と肝に銘じる そんな秋午後摩耶山黒岩尾根walkの記録です





六甲山牧場

摩耶山天上寺

摩耶山頂▲

摩耶山上掬星台  
ロープウェイ星の駅

▲606mピーク

●森林植物園東口

トウエントイクロメ  
(現在崩壊で通行止)

●黒岩尾根登り口

現在地

●天狗道登り口

全山縦走路・摩耶山登り口

市原

ロープウェイ  
ハーブ園

ロープウェイ  
風の丘駅

虹の駅

摩耶山  
ケーブル下駅

布引  
貯水池

展望台

布引滝

976 m

新神戸

© 2020 ZENRIN



黒岩尾根を登って摩耶山へ登る 2020.11.9. 3.00pm  
初めての道 時間がちょっと気になるがよく整備された道



A photograph of a forest trail. The path is made of stone steps and leads up a rocky, leaf-covered slope. The forest is dense with various trees, including a large tree trunk on the right. Sunlight filters through the canopy, creating dappled light on the ground.

黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9. 3.00pm  
尾根筋をまっすぐ急な階段状の道が続く



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9. 3.00pm  
西側の布引谷と東側地獄谷の切り立った狭い尾根筋を登ってゆく  
もう 尾根筋を登りきるまで逃げ道はない。



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
尾根筋を登ってゆくが、両側の視界は開けない。



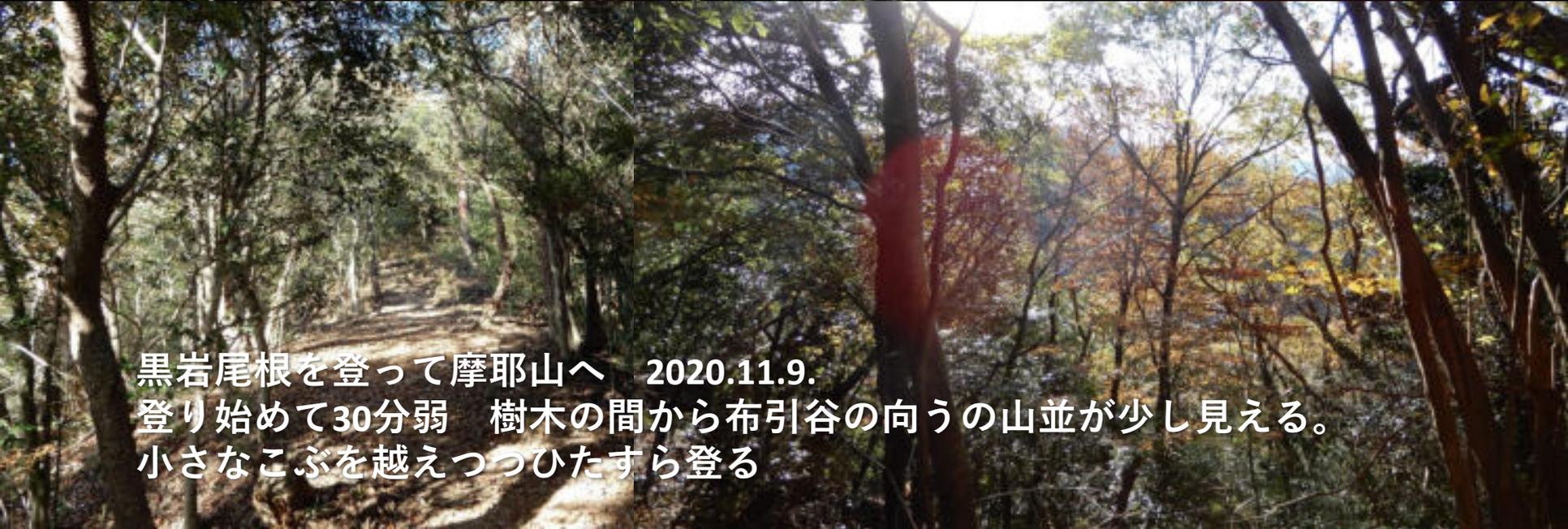
黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
時折 西側布引谷の谷筋が樹木の間から垣間見える



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
急な登りが続きが続くが、よく整備された道で心配はない。  
でも、狭い尾根筋の一本道のためか、全く道標がない。  
位置確認とスマホを取りだしましたが、電波届かず。ひたすら登る



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
登り始めて30分弱 樹木の間から布引谷の向こう遠くに鈴蘭台周辺の  
街並がみえる。もう 随分高くなったと。



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
登り始めて30分弱 樹木の間から布引谷の向うの山並が少し見える。  
小さなこぶを越えつつひたすら登る



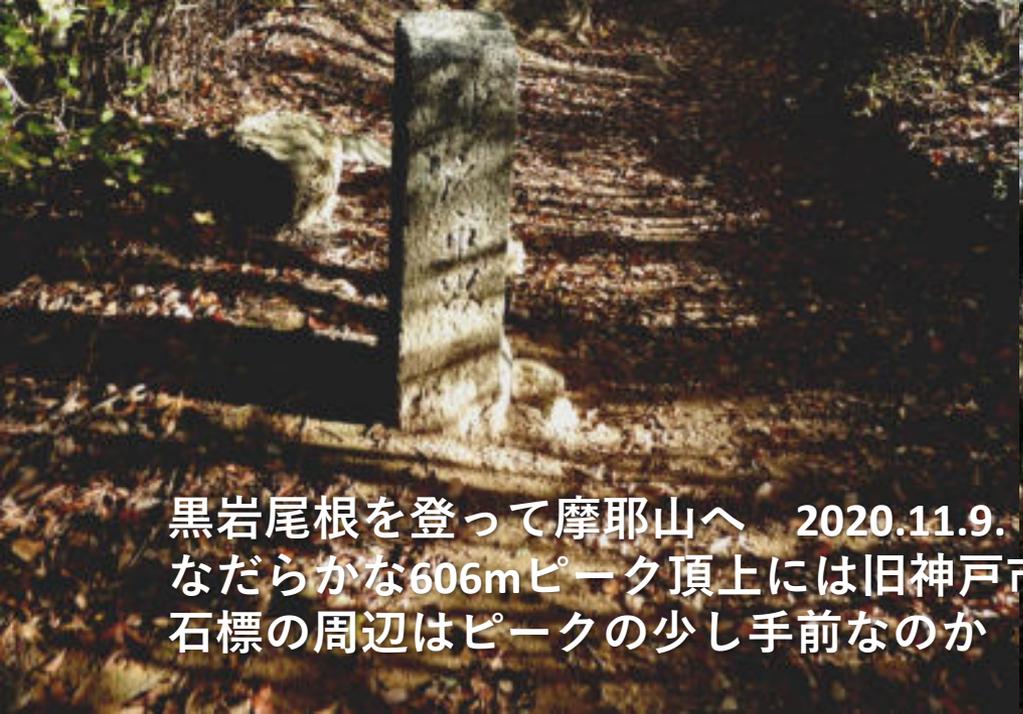
黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
尾根東側 地獄谷側は樹木に阻まれよく見えない。



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
だんだん秋の日差しが弱くなってゆく。 大きなピークへの登り  
このピークが黒岩尾根の中間点 606mピークと後で知れる。



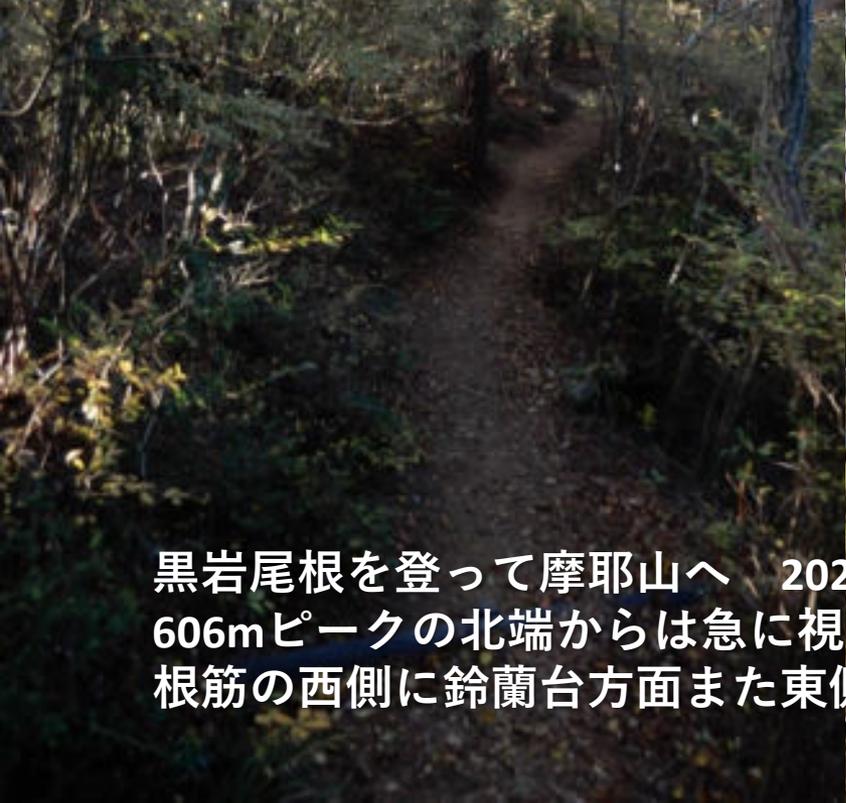
黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
空が明るくなって なたらかな606mピーク頂上周辺



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
なだらかな606mピーク頂上には旧神戸市境界の石標がありました  
石標の周辺はピークの少し手前なのか 樹木でよく見えない。



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
なだらかな606mピーク頂上には 古い旧神戸市境界の石標



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
606mピークの北端からは急に視界が開け、樹木越しにこれから向かう黒岩尾  
根筋の西側に鈴蘭台方面また東側 尾根の北端に摩耶山の電波塔がみえた。



## 606m peakの北側から眺める摩耶山山上へ伸びる黒岩尾根 2020.11.9.

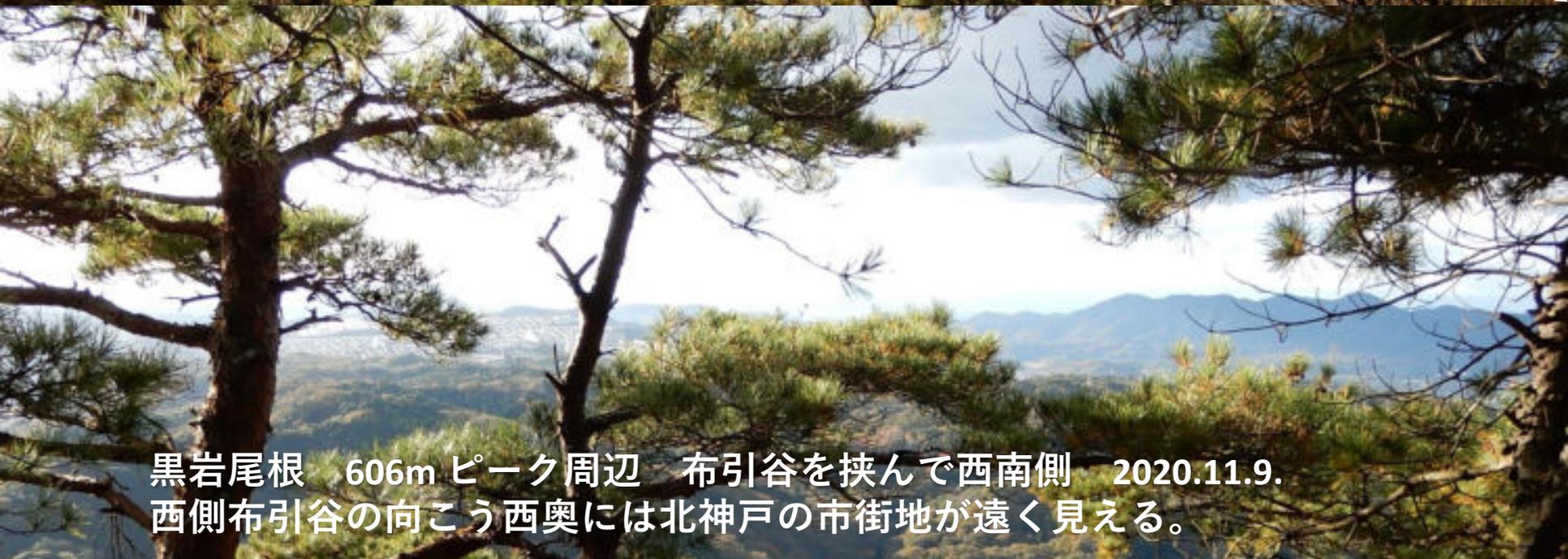
布引谷に沿って南から北へ伸びてきた黒岩尾根はこの606mピークの北で東へ折れ曲がり、摩耶山上へ至る。西側布引谷の向こう西奥には北神戸の市街地が遠く見え、正面黒岩尾根の東端には電波塔のある摩耶山山上が見える。

夕暮れが近づいていく午後4時前 まだ摩耶山まではまだ少しある。。





黒岩尾根 606m ピーク周辺 地獄谷を挟んで東側 2020.11.9.  
樹木の間から東側の尾根の端に摩耶山の電波塔がみえる。  
黒岩尾根はこのまま北正面の659mピークに登り直し、右へ折れて摩耶山へ  
この黒岩尾根北部の終端部が見えているようだ。



黒岩尾根 606m ピーク周辺 布引谷を挟んで西南側 2020.11.9.  
西側布引谷の向こう西奥には北神戸の市街地が遠く見える。



2020.11.9 黒岩尾根606mピーク北で  
黒岩尾根はこの606mピークから北へ少し下り、さらに小さなこぶを越えて  
鞍部から東に方向を転じて659mピークへ登りなおし、摩耶山山頂に至る。  
659mピークの北端部からは摩耶山につながる西六甲の山々や  
東播磨の海岸から平野部まで遠望された。

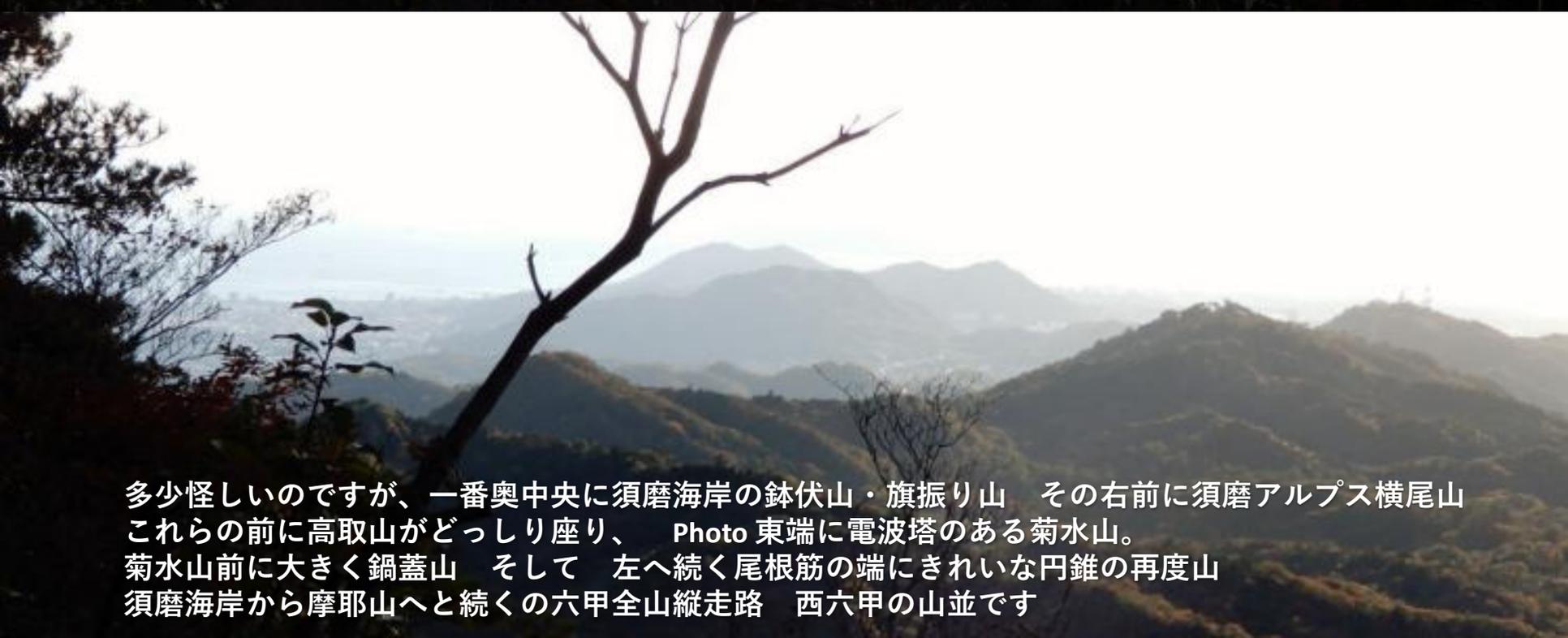


西側鈴蘭台方面の遠望 須磨海岸から遠く東播磨の田園地帯も見えている  
2020.11.9. 黒岩尾根 606mピーク北で





南西側須磨海岸から東播磨の海岸線が遠く遠望され、須磨海岸から摩耶山への六甲全山縦走路西六甲の山並が見えている  
こんなアングルで 西六甲の山並を眺めるのは初めて 2020.11.9. 黒岩尾根北部で



多少怪しいのですが、一番奥中央に須磨海岸の鉢伏山・旗振り山 その右前に須磨アルプス横尾山  
これらの前に高取山がどっしり座り、 Photo 東端に電波塔のある菊水山。  
菊水山前に大きく鍋蓋山 そして 左へ続く尾根筋の端にきれいな円錐の再度山  
須磨海岸から摩耶山へと続くの六甲全山縦走路 西六甲の山並です



淡路島が浮かぶ須磨海岸から摩耶山へ 六甲全山縦走路西六甲の山並遠望  
後奥から前方へ 鉢伏山・旗振山 横尾山(須磨アルプス) 高取山  
手前左から奥へ 再度山 鍋蓋山 菊水山  
2020.11.9. 黒岩尾根 606mピーク北で



黒岩尾根を登って摩耶山へ 606mピークを過ぎて659mピークへ  
南北にのびる黒岩尾根が東へ折れ曲がり、摩耶山頂へと続く  
また視界の利かぬ樹林の中への下り道。その入口に案内標識  
黒岩尾根を登りだして、初めて見る案内標識でした  
15:54 陽が陰り始めたので急がねば・・・



黒岩尾根を登って摩耶山へ 659mピーク周辺 2020.11.9.  
659mピーク周辺は視界の利かぬただっ広い樹林帯の中の一本道  
夕暮れ近く薄暗くなり始めとにかく急がねばと気がせく



黒岩尾根を登って摩耶山へ 659mピーク周辺 2020.11.9.  
659mピーク周辺は視界の利かぬだだっ広い樹林帯の中の本道



16:17 地獄谷への下り道分岐の標識と案内板 摩耶山まじかに安堵でも 夕暮れ近く山上へ気がせく。摩耶山からの昼間でも暗い下山路 山中の階段が頭をかすめる平日なので最終のロープウェイが心配。何としても間に合いたい。



16:25 摩耶山山上 黒岩尾根登山道出口で  
掬星台まで500m やれやれ 日没に間に合った  
とにかく掬星台ロープウェイの時間調べねば・・・



黒岩尾根を登って摩耶山へ 2020.11.9.  
摩耶山山上 掬星台 ロープウェイ駅への道で  
途中電波塔横で摩耶山頂への道の標識ありましたが、今日はパス。  
広いドライブウェイ道に出て、とにかく掬星台へ



南遠く明石海峡・淡路島に



北側には 摩耶天上寺の屋根が見えに



摩耶山山上の平坦部に入って 掬星台へ急ぐ もうすぐそこだ



16:32 摩耶山山上掬星台 ロープウェイ星の駅前  
掬星台の入口で駅員の方に出会い、最終17:30と聞いてホッとする。  
まっ暗な道を下山しなくて済んだ。  
まだ近くに多くの人たちが摩耶山からの夕景を楽しんでいる。  
何とか掬星台からの大阪湾大展望も見る事ができる



2020.11.9.夕 摩耶山山上掬星台から西側ロープウェイ星の駅





2020.11.9.夕 摩耶山山上掬星台 展望台

眼下には大阪湾沿岸に広がる神戸の街 東から西までぐるりと大阪湾沿岸の大展望

Photoは展望台端から東側 生駒山を背に広がる阪神間・大阪の市街地遠望



2020.11.9.夕 摩耶山山上掬星台 展望台  
東側 六甲山山上から 東神戸・阪神間から 生駒山を背後に大阪湾対岸の大阪・堺・和泉



2020.11.9.夕 摩耶山山上掬星台 展望台 北東側 六甲山山上から東神戸



摩耶山 掬星台



摩耶山掬星台から南東側の展望。神戸市街並、六甲アイランド越しに大阪湾を遠望。左端遠くに生駒山が見えている。

★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド	★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド	★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド	★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド
★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド	★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド	★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド	★ 六甲アイランド 六甲アイランド 六甲アイランド

摩耶山上掬星台から南東側の展望 2020.11.9.夕  
東神戸の街並・六甲アイランド越しに大阪湾遠望 左端遠くに生駒山が見えている



2020.11.9.夕 摩耶山山上掬星台からの大展望  
正面 左 六甲アイランド 右 ポートアイランド



摩耶山上掬星台から南東側 東神戸の街展望 2020.11.9.夕  
東神戸の街並・六甲アイランド越しに大阪湾遠望



東側 背後に生駒山の山並 阪神間から東神戸



南中央 六甲アイランドから南西側 神戸港・ポートアイランド・ハーバーランド  
2020.11.9.夕 摩耶山山上掬星台からの大展望



神戸港全景 東六甲あてランド 中央ポート相ランド 西ハーバーランド・和田岬  
大阪湾の対岸には 和泉・和歌山の山並から紀淡海峡が霞んでいる



海岸から六甲の山腹・山裾までびっしり広がる東神戸・阪神間の街



太陽が沈んで、どんどん夕闇が迫る 掬星台広場中央から東側 六甲山遠望 2020.11.9.夕  
六甲山山腹にある別荘群の灯が点々と見える



掬星台広場西側 夕闇の中 掬星台星の駅と電波塔 2020.11.9.夕  
5時30分の最終ロープウェイまで 少し時間があり、  
展望台にはまだ多くの人が残っているが、今日は5時のロープウェイで  
山を下りる



夕闇の中掬星台星の駅 5時のロープウェイ 2020.11.9.夕  
お客は私だけ。 みんな夜景を楽しんでから、山を降りるようだ。  
乗車して初めて知ったのですが、このロープウェイ乗務員が乗車しない。  
まあ、下の虹の駅も遠く見えているし、上下の駅で監視しているのでしょう。



夕闇の中掬星台星の駅 5時のロープウェイ 2020.11.9.夕  
眼下の神戸灘の街を眺めながら 急こう配で下の虹の駅へ  
ここでケーブルに乗り換えケーブル下駅灘の街に出る



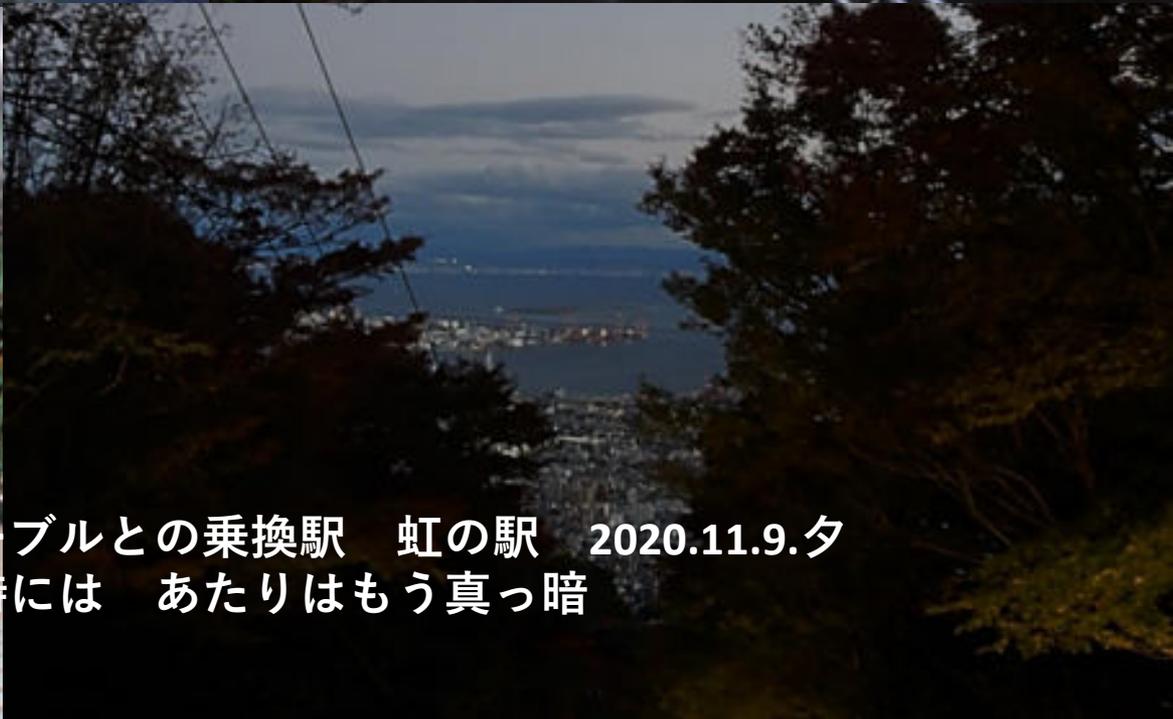
夕闇の中掬星台星の駅 5時のロープウェイ 2020.11.9.夕  
眼下の神戸灘の街を眺めながら 急こう配で下の虹の駅へ



夕闇の中掬星台星の駅 5時のロープウェイ 2020.11.9.夕  
真っ赤に色付いた眼下の谷を渡ってゆく。  
昇ってきたロープウェイも乗客は一組だけ 乗務員はいない。  
こんな深い谷の真ん中でストップしたら・・・・・・・・



夕闇の中掬星台星の駅 5時のロープウェイ 2020.11.9.夕  
ロープウェイが降るに従いどんどん街が暗くなってゆく。  
まるで夕闇がスピードアップしているかのよう 街に火がともりだす



ロープウェイとケーブルとの乗換駅 虹の駅 2020.11.9.夕  
虹の駅に着いた時には あたりはもう真っ暗



ケーブルの中から下の灘の街を眺める 2020.11.9.夕 17:21.  
ケーブルは長いトンネルを抜けると 灘の街の夜景がぱっと広がる広がる  
もう 真っ暗に  
素晴らしかったのですが、こんなピンボケに・・・・



ケーブル下駅周辺で 灘の街夜景 2020.11.9.夕 17:31

灘の街 沖に浮かぶ六甲アイランド

その後に大阪湾沿岸の町の灯が帯になって見えていました

今日午後 思いがけずの黒岩尾根からの摩耶山Walk

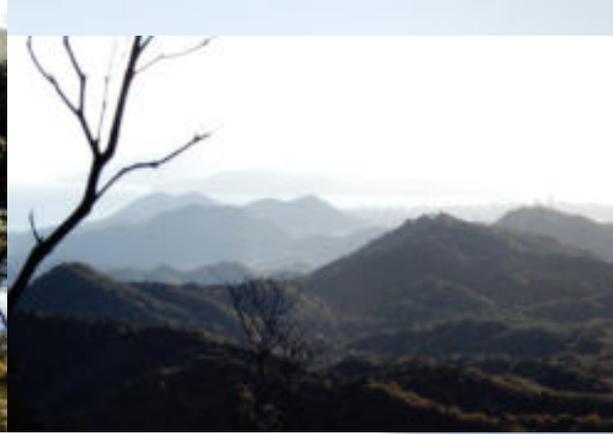
いつものwalkとは異なる久しぶりの気の張りつめたwalk

充実した一日を振り返りながら灘の坂道を下る



淡路島が浮かぶ須磨海岸から摩耶山へ 六甲全山縦走路西六甲の山並遠望  
後奥から前方へ 鉢伏山・旗振山 横尾山(須磨アルプス) 高取山  
手前左から奥へ 再度山 鍋蓋山 菊水山  
2020.11.9. 黒岩尾根 606mピーク北で

黒岩尾根をあるいて、こんなアングルからの西六甲の山々のPhotoを撮れたのも、大ききな収穫でした。



摩耶山黒岩尾根walk 2020.11.9 2000m  
尾根を歩くと大きな階段状の道がある



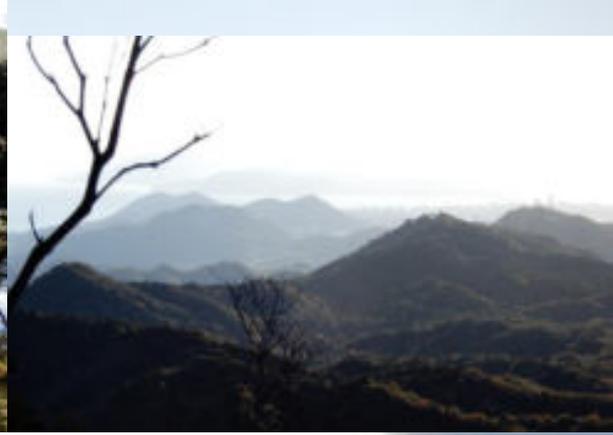
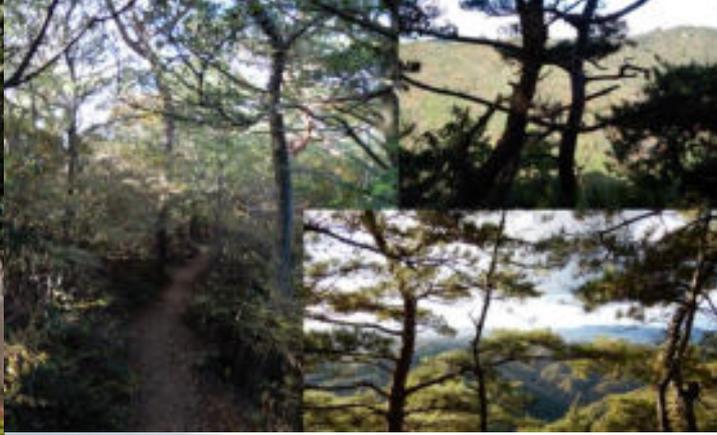
摩耶山黒岩尾根walk の一日を振り返りつつ 2020.11.9

## 摩耶山黒岩尾根walk 2020.11.9.

正面右の山頂から左へ「く」の字に回り込む尾根筋が黒岩尾根  
高さは702m摩耶山。神戸の街からケーブル・ロープウェイや六甲ドライブウェイを通じて  
手軽に登れ、また、登山道も色々よく整備されている。多くの毎日登山を楽しむ人も多い。  
ケーブルが登る街の中央から眺める摩耶山は気楽で楽しめる山と。子どもの頃から親しんだ山。  
でも大阪沿岸に広がる神戸の街 海岸から一機に700mほどを登るので侮ると厳しい。  
高取山など西六甲から眺める摩耶山は多くの山並に囲まれた堂々とした立派な姿を見せる山である。

山深い山などと想像すらしなかったが、今回正面の黒岩尾根を登って、新しい一面を発見。  
古くからの信仰の山だったことも理解。また、100名山踏破の田中有希さんが六甲全山縦走に挑んで、  
きついきついと言いながら摩耶の急坂を登っていたのを思い出しました。  
よく知らなかった摩耶山黒岩尾根をひよんなことで登り、改めて摩耶山の大きさにも触れることができました。  
摩耶山黒岩尾根 気に入った登山道が一つ加わりました。でも気を付けないと。

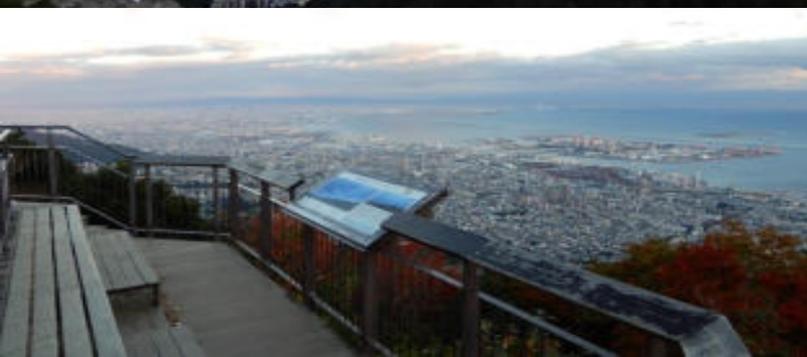




摩耶山黒岩尾根登山へ 2020.11.9. 2000m  
尾根を歩くと色々な階段状の道がある

きつい きついと言われる摩耶山黒岩尾根を登る 2020.11.9.

コロナ禍の中で  
体調変化に気を付けて 毎日を元気に!!  
by mutsu Nakanishi



添付 摩耶山山上掬星台からの大阪湾大展望  
デジカメによるVideo動画 2020.11.9.

- 掬星台からの大展望
- 下りロープウェイからの展望



あまり良い出来ではありませんが、大阪湾沿岸の大パノラマ映像です